

# 津幡の空から

## 石川県学校生活協同組合 2019・8月号

石川県石川県学校生活協創立70周年(組合員とともに70年 これまでも これからも)  
**美術館巡りは、絵と本を持って行くのが一番!**

私は、一年に一度、自分自身のリフレッシュ・再元気化のために海外旅行に行っています。そして、今年は「パリの美術館巡り」をしようと6月25日から7月2日までフランスに行きました。絵画にそれほど興味があるわけではないのですが、友人の北本豊春さんが書いた「陽巴里美術館」(ひばり美術館)という本を読み、この本を読みながら絵画を見たら面白いだろうなと思ったことがきっかけです。

26名の団体旅行に一人でもぐりこみ、5泊8日の旅程の2日間を自由行動にし、ルーブル・オルセー・国立近代・オランジェリー・ピカソの5つの美術館を見てきました。6月30日の午前中はルーブル美術館にいました。開館と同時に入場し、9:05「モナ・リザ」、9:10「グランド・オダリスク」、9:20「メデューズ号の筏」、9:37「民衆を導く自由の女神」、9:52「岩窟の聖母」、10:30「レースを編む女」10:40「マリー・ド・メディシスの生涯」、11:00「コロアのモナ・リザ」と言う具合です。美術館が3つあるような広さですから、絵を探すのが大変でした。そこで、分かった事、絵を探す時は、求める絵のコピーを持って、館内で椅子に座っている学芸員に見せると良いことです。どの学芸員もしっかりとある場所を熟知していました。さすがだなあと思いました。そして、その絵の前で、北本さんの文章を読みながら絵を見るのは面白かったです。いつもは、さあっと見てしまうのですが、じっくりと見られて良かったです。しかし、「ナポレオン一世の戴冠式」と「聖母子と幼き洗礼者聖ヨハネ」は貸し出されていました。

みなさんも、美術館を巡る時は、先に絵のコピーを仕入れ、説明文を読んでから出かけるとじっくり見られて良いと思います。



2019年6月末経常剰余金決算 657万円の赤字。計画よりは3万円の悪化!

その状況を詳しく見てみますと、順調な事業剰余は、フレッシュ事業106%、車検事業の105%の二つです。厳しい事業は葬祭事業の64%で、目標より1,238万円も供給が上がっていません。私たち職員が担っている自主供給事業では計画比98.6%、指定店供給は76.2%で、指定店供給が計画よりかなり下回った結果となっています。

みなさんにご協力をお願いした「夏の全員利用運動」は、1,252万円の売り上げで、計画比89.4%利用人数は5,234人で、計画比95.2%という結果でした。供給も利用人数も計画を下回りました。残念な状況ですが、職員一同頑張っていますので、これからもよろしくお願ひします。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

### シリーズ第11回《ナポレオン一世の戴冠式》北本 豊春

前回は、新古典主義の画家アングルの絵画を紹介しました。新古典主義の画家たちは、豪奢で貴族的な表現が用いられ、軽薄な印象を受ける、ロココ時代の絵画に嫌悪感を抱き、ルネッサンス期の絵画に理想を求めました。ダヴィッドは、新古典主義の代表的な画家の一人です。ナポレオンの首席画家となったダヴィッドは、「戴冠式」の様子を描くように命じられます。最高の権威を自認するナポレオンは、教皇に王冠を被せられるのを嫌って、自分で王冠を被ってしまいます。この様子を描いたのは、ナポレオンの傲慢さが強調されると危惧したダヴィッドは、ナポレオンが妻のジョセフィーヌに戴冠する様子を描きました。この絵には、実際の戴冠場面とは違ったところが幾つかあります。両手を膝の上に置いていた教皇が右手を上げて祝福しているように描かれています。ジョセフィーヌもナポレオンも、実像よりは遙かに若々しい姿で描かれています。極め付けは、実際には参席しなかった、ナポレオンの母親が描かれています。母親は、嫁のジョセフィーヌを余り良く思っていないかったとされています。母親は、嫁のジョセフィーヌを余り良く思っていないかったとされています。そこで、この戴冠式には欠席しているのです。ダヴィッドは、様々な手立てを工夫し一年間準備して縦六・三m横九・七mのこの巨大な作品に臨みます。権威ある国王に関する戴冠式を描くに当たって思惑を巡らせ、実際には欠席だった母親を描いたのです。身勝手な権力者の絵を描くのも相当な苦勞がありますね。

### 編集後記

「パリ・ミュージアム・パスがお得！」  
 ルーブル美術館の入場料金は15€(ユーロ)、オルセーは12€、国立近代は14€、ピカソは12.5€、オランジェリーは9€です。合計62.5€になります。しかし、これが48€になる券が、パリ・ミュージアム・パスです。二日間使えます。それもパリにある40をこえる美術館、凱旋門、ベルサイユ宮殿などの観光スポットで使えます。私は「地球の歩き方」で知りました。そのお蔭で、お金もそうなのですが、入場する時、いちいちチケットを買わなくて良く、並ばなくて良く、大変スムーズに入れて良かったです。パスは日本で買えました。

それと今回は2日間全くの自由行動だったので、全て交通は地下鉄を利用しました。フランス語なんてよく分からない私でも簡単に利用できるくらいの便利さでした。最寄りの地下鉄駅が書かれておればスムーズに行けて東京よりも分かりやすいと思ひました。次回はどこに行こうかな?